

1. 入国審査・保安検査の合理化・迅速化と接遇向上に向けて

今後増加していくことが見込まれる訪日外国人旅行者等もふまえ、入国審査官の増員や、各地で「バイオカート」の導入が進んでいる一方で、日本人の出入国手続きについては、さらに合理化・迅速化を図ることができる考える。

「顔認証ゲート」や「自動化ゲート」については主要国際空港を中心に導入が実施されているが、利用促進その他 Visit Japan Web をはじめとしたアプリの継続的なアップデートなどにより、さらなる円滑な入国審査への取り組みを講じられたい。

【回答】

2030年に訪日外国人旅行者数6,000万人を目指すとの政府目標に向けて、デジタル技術等を活用した出入国審査業務の高度化を着実に進めることで、今後とも厳格な出入国管理と円滑な出入国審査を高度な次元で両立させるよう、努めてまいります。